

3

7

みな友 だより Vol. 14

- ・会長挨拶・各部挨拶..... P.1
- ・令和3年度事業報告、令和4年度事業計画..... P.2
- ・熊連協事業（熊連協学習会）..... P.3
- ・熊連協事業（熊連協第32回文化祭）..... P.4～5
- ・熊連協事業（花壇ボランティア）..... P.6
- ・クラブの活動紹介..... P.7～9
ハイキングクラブ(P.7、8)、寺社めぐりクラブ(P.9)、歌声喫茶いきいきクラブ(P.9)
- ・自由投稿..... P.10～11
森 充「日本の気球観光フライト」(P.10) 池田裕信「良いとこしょ！ サイト古書！」(P.11)
- ・表紙写真について、みな友文芸、編集後記..... P.12



令和3年度
彩の国いきがい大学熊谷学園第37期校友会

<http://yuurenkyo.net/index.html>

森 充 氏 撮影 雲海上の日の出

会長挨拶

『どんな時も、人生には意味がある』

近藤 富男



私も、人並みに毎月1度ZOOMによる研修を受けている。パソコン画面を通して、新しい知識が伝わってくるが、なぜか空しく感じられる。

もうじき、対面交流の制限を受けてからまる二年が過ぎようとしている。日常生活は、新聞、テレビでコロナの新規感染者数かロシアとウクライナの戦争のニュースがいつも流れている。しかし、何か現実感が足りない。これは、映画かドラマで本当に起きていることではないと感じてしまう。

あと、残された時間はそんなに長くはない。ウィーンの心理学者フランクルは、「どんな時も、人生には意味がある」と言っている。私は、他人と会えない時間を年間100冊の読書に充てようと思っている。

総務部挨拶

『会員の皆様に感謝申し上げます』

田島 英之



平成24年度から、37期生として校友会の運営に携わって参りました。今日まで、皆様からの総務部に対する多大なるご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。役員交代となりますが、引き続き校友会の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

コロナ禍で通常の事業が実施できない状況ですが、早く収束するのを待つばかりです。そして、皆様どうぞご自愛ください。

企画部挨拶

『この年を嘆くことなく、次期時代前進するのみ』

芝宮 たけ子



大きな変動期を迎えました。令和3年度はコロナ感染症の為思うように活動が出来ませんでした。役員4人が頭を抱えた年でした。会議も理事会時のみに終わってしまいました。楽しいバス旅行も学習会、独自事業、芸能祭もできず時は過ぎてしまいました。

ただこの年を嘆くことなく、次期時代を見えない絆で結び、前進するのみです。

皆様のご協力に深く感謝いたします。

広報部挨拶

『原稿のご投稿に感謝します』

池田 裕信



今年度も新型コロナの感染拡大は収まらず、37期校友会の行事やクラブ活動は少なくなりました。これを反映して、広報誌の内容も変化しています。お陰様で旧来のマンネリとなった編集が変えられたと考えます。

その活動の少ない中で、広報誌への原稿提出にご協力頂き誠にありがとうございました。又、ホームページへの投稿も積極的にご協力いただき有難うございました。

令和3年度事業報告

年月	37期校友会	熊連協・いきいき埼玉
R 3年4月	第8回総会(4/6)、第1回理事会(4/20)	
5月	三役会議(5/11) 第2回理事会(5/18)	熊連協定期総会(5/7) 花ボラ第1回(5/19)①②班
6月	理事・監事懇親会(6/下)⇒中止	花ボラ(6/9)③④班、(6/23)⑤⑥班
7月	三役会議(7/6)、第3回理事会(7/13)	花ボラ(7/14)⑦⑧班、(7/28)⑨⑩班 第1回公開学習(7/中)⇒中止
8月		花ボラ(8/11)①②班、(8/25)③④班 農林公園夏祭り⇒中止
9月	三役会議(9/7)、第4回理事会(9/14) 懇親旅行(9/下)⇒中止	花ボラ(9/8)⑤⑥班、(9/22)⑦⑧班 高齢者創作展⇒中止
10月		花ボラ(10/13)⑨⑩班、(10/27)①②班 学習会(10/13・27、11/10、12/8)
11月	三役会議(11/2)、第5回理事会(11/9) 自主学習会(11/下)⇒中止	花ボラ(11/10)③④班 第32回文化祭(11/18~21)
12月	緊急理事会(12/14)	花ボラ(12/8)⑤⑥班 第2回公開学習(12/中)⇒中止
R 4年1月	三役会議⇒中止、第6回理事会(1/11)	
2月	新旧三役会議⇒中止 新旧理事・監事交流会⇒中止	第29回芸能祭(2/19)⇒中止
3月	三役会議(3/1)、第7回理事会(3/8) みな友 Vol.14Web配布(3/31)	花ボラ(3/9)⑦⑧班

令和4年度事業計画

年月	37期校友会	熊連協・いきいき埼玉
R 4年4月	第9回総会(4/5)、三役会議(4/12) 第1回理事会(4/19)	
5月	三役会議(5/10) 第2回理事会(5/17)	熊連協定期総会(5/6) 花ボラ第1回(5/18)③④班
6月	理事・監事懇親会(6/下)	花ボラ(6/8)⑤⑥班、(6/22)⑦班
7月	三役会議(7/5) 第3回理事会(7/12)	花ボラ(7/13)⑨⑩班、(7/27)①②班 第1回公開学習(7/中)
8月		花ボラ(8/10)③④班、(8/24)⑤⑥班 農林公園夏祭り(8/6~8/7)
9月	三役会議(9/6) 第4回理事会(9/13) 懇親旅行(9/下)	花ボラ(9/7)⑦班、(9/21)⑨⑩班
10月		花ボラ(10/12)①②班、(10/26)③④班 学習会(10/中)、高齢者創作展(10/中)
11月	三役会議(11/1) 第5回理事会(11/8) 自主学習会(11/下)	花ボラ(11/9)⑤⑥班 第33回文化祭(11/16~20)
12月	緊急理事会(12/中)	花ボラ(12/7)⑦班 第2回公開学習(12/中)
R 5年1月	三役会議(1/4) 第6回理事会(1/10)	
2月	新旧三役会議(2/初) 新旧理事・監事交流会(2/中)	第30回芸能祭(2/18)
3月	三役会議(3/7) 第7回理事会(3/14) みな友 Vol.15Web配布(3/31)	花ボラ(3/8)⑨⑩班

熊谷スポーツ文化公園内新ラグビー場の施設見学会が開催されました。

花ボラ作業終了後、10月13日と27日、11月10日の3回行われ、37期では合計27名の参加がありました。

観客席、VIPラウンジ、映像操作室、ビューボックス、選手用シャワー室等、普段入れない施設を見ることができました。さらにラグビーグラウンドの芝生に触れる体験など、貴重な施設見学になりました。



第1回 10月13日 画像は熊連協 HP より



四阿からラグビー場へ移動



VIP ルーム



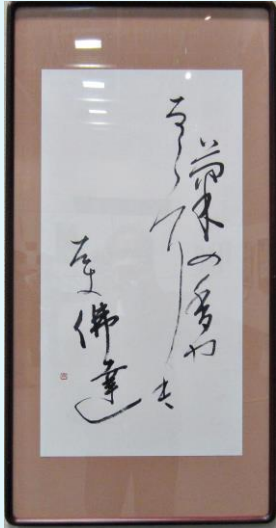
第2回 10月27日 画像は熊連協 HP より



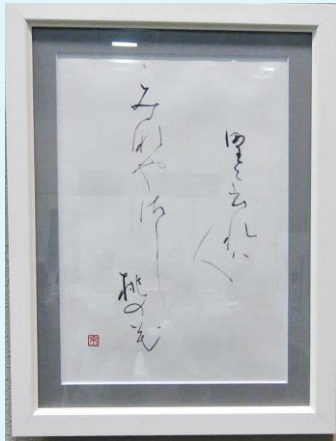
第3回 11月10日 画像は熊連協 HP より



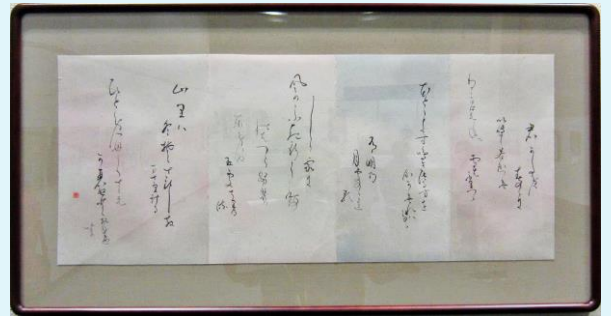
11月19日から21日まで、熊谷市立妻沼展示館展示室にて、第32回熊連協文化祭が開催されました。37期からは11人、21点の作品展です。以下、ご紹介をさせていただきます。



高橋京子さん 書：
「菊の香や
奈良には古く仏達」



高橋京子さん 書：
「野に出れば
人みなやさし桃の花」



長島敏子さん 軸：「百人一首」



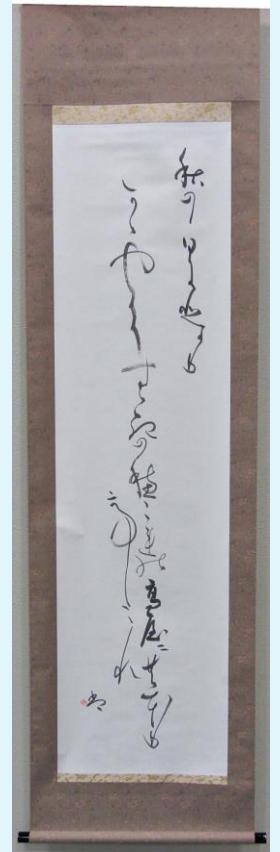
芝宮たけ子さん 写真：「御射鹿池」



関川登美子さん 油絵：「望郷」



関川登美子さん 版画：「果物」



長島敏子さん
軸：「良寛詩」



岡安昭子さん 切絵：「春を謳う」



岡安昭子さん
切絵：「いつもの散歩道」



田島英之さん 切絵：「菊」



田島英之さん 切絵：「虎」



中島美由喜さん 切絵：「祭り」



中島美由喜さん 切絵：「寿百態」



錦織貴美子さん
工芸：「手づくりバック」



錦織貴美子さん
工芸：「手づくりバック」



近藤富男さん
陶芸：「大皿 あめ色」



近藤富男さん
陶芸：「大皿 黄色」



芝宮たけ子さん 園芸：「岩松」



大澤勝重さん 園芸：「錦松」



大澤勝重さん 園芸：「赤松」



佐藤征行さん 園芸：「さつき」

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、第1回（5月）、第2回（6月）は中止、また、第7回（8月）、第10回（10月）、13回（12月）は雨天中止となりました。感染予防対策をした上で実施され、延べ79名が参加しました。



21.6.23 第3回 草取り



21.6.23 第3回 5班



21.6.23 第3回 6班



21.7.28 第5回 9班、10班



21.8.11 第6回 1班、2班



21.9.22 第9回 7班



21.11.10 第12回 3班、4班



21.11.10 第12回 3班、4班 苗の植付



21.12.8 第13回 雨天中止



22.3.9 第14回 7班



＝「10年ひと区切り、明るく元気で健康にこれからも楽しみましょう」＝

2012年7月、37期ハイキングクラブは16名で発足しました。7月8日第1回ハイキングは「鎌倉・祇園山コース」から取り組みをスタート致しました。以降9年6ヶ月の昨年末12月に天候等による中止及びコロナ感染症対策による中止が14回ありましたが通算100回の月例ハイキングの達成と2014年「秩父札所巡り」全8回、2018年7月からの「日光街道歩き」全18回をご家族と仲間の皆さんの支えで取り組む事ができました。

会員数は2013年校友会発足時47名、2016年以降徐々に減少をして現在は18名での活動となりましたが、今年度もコロナ禍の中でしたが9回取り組みました。

私たちは「自然と親しみ、健康の維持と会員相互の親睦を」を目的に取り組み、多くの思い出と成果を得る事ができました。これからも年齢的衰えを克服し、体力に見合う活動を継続する気持ちで頑張りましょう。



2012年 第1回 鎌倉・祇園山コース



2013年 第7回 卒業記念・幕山



2013年 第13回 那須・茶臼岳



2014年 第18回 鎌倉アルプス



2014年 第27回 石割山



2015年 第38回 伊勢原・大山



2016年 第49回 奥日光一泊ハイイク
・湯本温泉



2017年 第58回 池の平湿原

クラブの活動紹介（ハイキングクラブ）



2018年 第69回 大菩薩峠



2018年 第73回 官ノ倉山



2019年 第82回 富士山・宝永火口縁



2019年 第83年 秋の尾瀬



2020年 第89回 コロナ禍の箕山



2021年 第94回 大高取山



2021年 第96年 大霧山



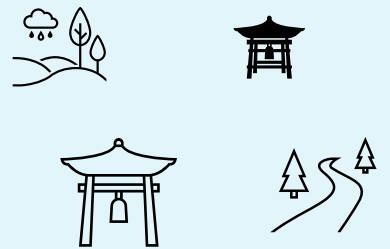
2021年 第100回 金ヶ嶽～風布みかん山



2022年 第101回 越生七福神めぐり



2022年 第102回 3月13日 鐘撞堂山（虎ヶ岡城址コース）



2014年 第7回 秩父札所巡り・32番札所



2018年 第1回 7月 日光街道歩き・日本橋



2020年 第18回 10月 日光街道歩き・二荒山神橋

～ 友からの電話 ～

先日、支援センターで、ある勉強会に参加していた。そこで、携帯が鳴った。数年前、諸般の事情で寺社巡りクラブを退会した Y さんからだった。「テレビを見ていたら、以前月例会で出かけたところが出ていたので、K さんはどうしているか電話してみた。」とのことだった。

電話で、話をしながら一緒に都内の公園を歩いたこと、昼食でビールを飲みながら話したこと、熊谷駅についてから二次会へ行ったこと、楽しかった思い出が次々と浮かんできた。

もうすぐ、コロナがおさまれば寺社巡りクラブが再開できると信じている。



2019年3月28日 青山・神宮前界限散策
(セントグレース大聖堂にて)



2019年3月28日 青山・神宮前界限散策
(善光寺別院にて)

クラブの活動紹介（歌声喫茶・いきいきクラブ）

～ 少人数でも継続を ～

今年度は久々に、芸能祭で37期の皆さんと一緒に、舞台上で楽しく唄うことを思っていました。然しながら、忌々しいオミクロン株に邪魔をされ叶いませんでした。

さて、定例歌声喫茶は中央公民館で毎月開催を目指しましたが、8・9月と年が明けての1・2月の活動中止をすることになりました。今回の写真は3月23日に開催の定例会の様です。

歌声喫茶のサークルは近辺のところで、数ヶ所あるのですが、殆どが中止していて、現状で私たちのクラブが数少ない歌声喫茶の開催場所となっています。不特定多数の出席者で唄うことは難しく、今の活動が限界と思われれます。何時までコロナが続くか分かりませんが、少人数でも継続することが大事と思うこの頃です。



「日本の気球観光フライト」

海外ではトルコのカップドキアやオーストラリア等で熱気球の観光フライトが盛んですが、日本でも昨年より“観光フライト”が実施されています。

今回 羽生市でふるさと納税（17万円）の返礼品として、熱気球のフライト（家族3名程度）を行うこととなり、ゲスト対応を勉強するために他で実施中の“観光フライト”を体験することとしました。

新春早々に 国内で観光フライトをしている JBS さんの気球に乗ることになりました。場所は渡良瀬遊水地で、45分フライトで大人3万円、子供2万円で最大搭乗数は大人6名程度です。体温を測り、注意事項を受けた後にゲスト6名で空へ。気球は回転可能になっており、360度角度を変えて、遠く富士山、スカイツリーも見えました。着陸後はシャンパンではなく、コーヒーを出されて、懇談し「気球搭乗証明書」を頂き終了しました。大変参考になりました。



羽生市のふるさと納税による気球フライト希望者は現在1組あり、今回の経験を参考にサービスする予定です。使用する気球は羽生市の気球（写真2枚）で華やかです。

“みな友13号”表紙写真の気球で、所属クラブでは通常フライトしています。知り合いのゲストはゲスト搭乗可能ですので、お声かけ頂ければ対応可能ですが、現在はコロナの状況により受付可否の判断をしているところです。

以上



「 良いとこしょ！ サイト古書！ 」

分からないことがある時、スマホの検索に事柄を打ち込み、回答を頂いています。皆さんも同じ疑問を持っているものと思え、同じ質問をされています。辞書を見なくてもスマホで解決できる便利な世の中になったものです。

5年ほど前にネットの便利さを実感したことがあります。行田市民大学のグループ研究で、“獅子舞のルーツを探る” 担当した時のことでした。

この作成にネット検索での調査がとても大きく役立ちました。埼玉県内市町村全てと群馬県近隣市町村、博物館等のHPや語句検索により行いました。語句を色々変えて検索すると、色々な情報が出てきて。その中に、別の手がかりを探し、調べていきました。

ここで思ったのは、殆どの資料が電子化（PDF・写真画像含む）されて閲覧できるということです。一昔前では考えられないくらい、費用も掛からず、短時間に調べられました。

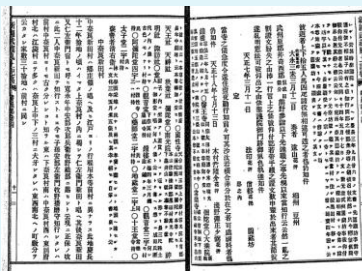
ここで出会い、そして今も、時々使わせていただいているのが、国会図書館のデータベースにある“新編武蔵風土記稿”です。江戸時代 文化・文政期に公式編纂（1830年完成）された武蔵国の地誌で内容は自然・歴史・名所等多くの事柄を、各村に取調書上を提出させ作り上げたものです。192年前に出されそれ程古くないので、原本でも読むことが可能で、根拠などが古文書の書名まで記載されています。



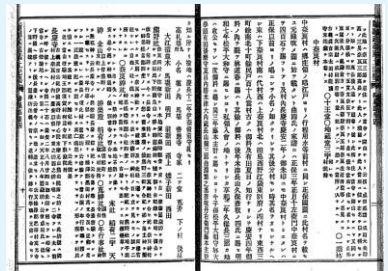
奈良神社



長慶寺



新編武蔵風土記 中奈良村 2



新編武蔵風土記 中奈良村 1

出会ったのは、獅子舞の技能の伝搬に修験者が関わっているのではと推論し、鎌倉公方に近い本山派修験を調べた時でした。神社・寺院に関しては、明治期の廃仏毀釈により現在と大きく異なっています。と、云うことで、江戸期以前の地誌“新編武蔵風土記稿”で調査を行いました。この中で近隣にあった年行事の寺社を調べ、熊谷市奈良にあった「円蔵坊」の故事が興味深く、奈良神社傍の長慶寺に当時の古文書が残されています。円蔵坊は成田氏

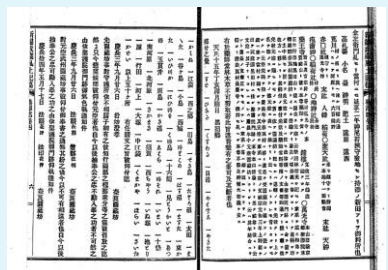
と近く、成田氏が秀吉に降ったあと退職（殺された？）しています。その後、長慶寺に引継がれ、約10年後榛沢郡黒田村の満光寺に引継がれました。この間にいざこざがあった模様で、満光寺側の言分が記載されています。図書館に行かなくても、画面上で探せ必要な部分はデータ保存ができます。

ちなみに、この風土記稿で、私の住んでいる熊谷市楊井を調べました。当時は「和田村」「原新田」の二か村で、明治6年に二村が合併し「楊井村」になりました。新編武蔵風土記の「楊井」記載は総説の中に「和名類聚抄 楊井：也木井ト註ス今其地ヲシラス」とあります。“和名類聚抄”とは平安時代中期の辞書で、これ以前の太里郡に存在したようです。

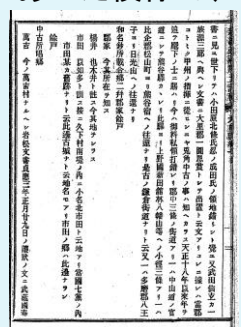
読んでいくと知的好奇心に誘われ、時間を忘れてしまいます。近所の名所旧跡を調べてみると楽しいです。どうぞお試し・お楽しみください。

古書古書（こそこそ）でなく堂々と（笑）_（^）_

古書画像：国立国会図書館デジタルコレクション



新編武蔵風土記 黒田村

新編武蔵風土記稿
「楊井」記載

表紙写真について

表紙の写真は、昨年度、森充さんから頂いた、気球ゴンドラから撮影した、雲海からの日の出の様子です。

昨年度は表紙を飾るには暗い感じだったので控えましたが、今年になってあらためてみると、今のコロナ禍での暗い状況にぴったりと思え、採用しました。“明けぬ夜は無い”

太陽の明るい光が大きく広がって、暗い世の中を照らし、明るいものとなるよう、祈りを込めた思いです。



みな友文芸

▽ 振袖の 孫成人に 祖母笑顔	▽ 愛犬と 朝夕散歩 同じ歳	▽ 史誌と共 並ぶアルバム 九冊目	▽ 四季の歌 思い出紙筒に 詰め込んで	▽ コロナにも 御みがつくとはいはいかに	▽ 食いしん坊 孫のいぬまに 苺食べ	▽ SDGs 未来の地球 守らねば	▽ 逃げ惑う 民の思いに 胸痛む	▽ プーチンの 顔が悪魔に 見える日々	▽ だったのか マスクはずした 下の顔	▽ 同感よ アレアレアレの 良子さん	▽ 昼散歩 鼻たれ小僧 昼寝前	▽ 熊谷の 廢線敷で 太る鳥	▽ 木漏れ日の コロナ踏みつけ おがら炊く岩翁	▽ まんえんに 付けて嬉しや 大数字	▽ どちらかを 問われ憧れ モテルなあ	▽ 川柳	▽ 老杉(ろうさん)の間(あい)に華やぐ山ざくら 宗雲	▽ 梅の花 満開匂う 春告げて	▽ 玄関に 河津桜が 溢れけり	▽ 畑打を 待つてましたと 鳥降りる	俳句
N・M	N・M	たとう江石	たとう江石	マチヤ婆	マチヤ婆	マチヤ婆	マチヤ婆	マチヤ婆	マチヤ婆	マチヤ婆	古稀の読書人	古稀の読書人	楊井の私	楊井の私	楊井の私		古稀の読書人	古稀の読書人	古稀の読書人	古稀の読書人	古稀の読書人
85	85	79	79	68	68	68	68	68	68	68	45	45	17	8	8		121	45	17	8	

編集後記

今年度も新型コロナの感染拡大は収まらず、37期校友会や熊連協の行事が中止となりました。広報誌の題材も少なくなり、昨年度は過去の懇親旅行写真などで替えてきたところでした。過去の広報誌は印刷製本をしていたので、頁数による予算的制約があり原稿の数の多少に困ることがありました。思い直すと、昨年からは始めたWEB閲覧のお陰で、この制約がありません。多ければ多いなりに、少なければそれなりに。無理せず、編集をしていこうとなりました。原稿募集の段階から、皆様へは原稿提出のプレッシャーは(特定の方を除き)少なかったのではないかと思います。

有難くも、ハイキングクラブがご苦勞の多い中で、活動を継続され、又、100回の行事を達成されたこともあり、多くの写真を頂きました。これにより、2ページを明るく飾っていただきました。有難うございました。

広報部長：池田 裕信
〃 副部長：森 充
〃 委員：須永 政子

2022年(令和4年)3月31日 発行
彩の国いきがいの大学熊谷学園第37期校友会
会報 みな友だより第14号(令和3年度)

